

造影剤を使用する検査を受けられる方へ（検査説明書）

1. 造影検査の手順及び目的

静脈に造影剤を注射して検査を行います。造影剤を使用することにより、画面上に臓器や血管を明瞭に描出させ、その形や機能を詳細に調べることができます。これは病変の診断に大いに役立ちます。造影検査の種類としてはCT、MRI、排泄性尿路造影、下肢静脈造影などがあります。

2. 造影剤の副作用と発生頻度

検査に際してはその時点での症状や以前にかかった病気・家族の方がかかった病気などに注意しながら安全に検査が行われるよう努めています。検査中あるいは検査後(1時間から数日後)しばらくしてから副作用症状が起きることがあります。

1)ヨード造影剤の副作用発生頻度

・軽い副作用:100～200人に1人程度

吐き気・嘔吐・頭痛・めまい・じん麻疹・発疹・かゆみなど

・重い副作用:1万人～2万人に1人程度

まれにショックやアナフィラキシー様反応(呼吸困難、血圧低下)

・死亡にいたる副作用:世界的統計によると20万人に1人程度

(当院では現在のところ死亡例はありません。)

・遅発性副作用:検査終了後に遅れて副作用が見られる症状が出るのは検査後1時間程度から数日後までと幅があります。副作用としては頭痛・吐き気・めまい・じん麻疹などが多く、ごく稀にショックやアナフィラキシー様反応もあります。

2)非ヨード造影剤の副作用発生頻度(MRIで使用する造影剤)

上記の副作用の10分の1程度とされています。

造影剤を使用する検査を受けられる方へ（問診・同意書）

■ 問診事項（1～4は全ての検査、5はMRI検査を除く。） 裏面の検査説明書もお読み下さい

1. 今までに造影剤を使用した検査を受けたことがありますか？（全ての造影検査） □ある □ない
2. 造影検査を受けた方にお尋ねします。 その検査時に副作用と見られる症状はありましたか？（全ての造影検査） □ある □ない
3. 腎臓の機能に障害はありませんか？（すべての造影検査） □ある □ない
4. アレルギー性の病気、体質などはありますか？（全ての造影検査） □ある □ない
5. メデット・メルビン等ビグアナイド系の糖尿病治療薬を服用されていますか？ （造影CT検査、排泄性尿路造影、下肢静脈造影等を受ける方のみ、緊急検査は可。MRI造影検査を除く。） □ある □ない （あるの方は上記造影検査の実施、前後48時間前は服用をお控え下さい。）

■ 造影検査の有用性及びその副作用について

造影検査の有用性と副作用などの説明をお受けになるか裏面の造影検査説明書をよくお読みになりご理解の上、同意書へのご署名をお願いします。

同意書は検査当日、担当者にお渡しください。なお、同意書にご署名された後でも造影剤の使用を拒否されて構いません。また、検査担当医師の判断により造影剤を使わない場合もありますので、ご了承下さい。

■ 副作用発生時の対応

万一、副作用が発生した場合には適切な処置を行います。

極めてまれですが重篤な副作用が発生する事があります。この場合には医師や医療スタッフを院内放送等により動員する緊急システムにより迅速な処置を行います。

○説明医師名

医師名

診療科名

平成

年

月

日

科

■ 造影検査への同意(本人または代理人のご署名を願います)

私は造影剤に関し、その必要性和副作用の可能性について説明を受け理解し、その使用に同意します。また、万一、副作用が現れた場合、必要な処置を受けることを承諾します。

(検査当日、1階総合予約センターに診療情報提供書・検査予約票並びにこの用紙をご提出下さい)

○受診者名

本人又は代理人のご署名

続柄

平成

年

月

日

確認印	放射線	受付	検査室

東京西徳洲会病院 放射線医学センター
〒196-0003 東京都 昭島市 松原町 3丁目 1-1
TEL 042-500-4433 内線 1117

2009.07.19版